

事業報告

<研修名>

令和元年度 「協育」ネットワーク連携促進事業 放課後児童関係者研修会

<開催日時>

令和元年 11月12日（火） 10:15~14:40

<会場>

はさま公民館 大研修室

<参加人数>

112名

<研修趣旨>

小学校チャレンジ教室や放課後児童クラブ、児童館の子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うために、講義や情報交換をとおして関係者の資質向上と相互の連携を図る。

<研修内容>

【研修1】▼情報交換 「わが児童クラブ・教室の自慢」

進行：大分県立図書館 学校・地域支援課 社会教育主事 鹿島 嘉節

ワールドカフェ（小グループに分かれ、テーマに対して話し合う。得られた情報は模造紙に書き込む。指定した時間が過ぎたら1人を残しグループを再構成し、新たなグループで話し合う）による情報交換を行いました。事前に用意した取組をまとめた資料を使いながら、取組の内容・困り・日頃の思い等を共有することができました。また、悩みや困りについて共感しながらも、具体的な改善策を考えようとするグループもあり意義深い話し合いになりました。

【研修2】▼講義 「つながり」から「まじわり」へ～子どもの生きる力を育てるために～

講師：長崎県諫早市こどもの城 館長 池田 尚 氏

研修1で話題になった「子どもへの声のかけ方」について、こどもの城でどのように取り組んでいるか具体的な場面を提示し、わかりやすく説明（人に迷惑をかけないではなく、人の喜ぶことをしよう等）されました。子どもの気持ちを想像し禁止用語を避け、用いる言葉を工夫することで相手が受ける印象も行動も少しずつ変化していくと話されました。幼少期は、論理よりも愛着感覚をつかむ時期なので、多くの体験・活動を行うことが思春期以降の自己肯定感につながると聞き、子どもたちが安全・安心に過ごし、多様な経験や活動について改めて考えることができました。

笑い声があふれる中、こどもの城で日頃から取り組んでいることや大切にしていること等をたくさんお話いただきました。

<当日の様子(写真)>

【研修1】▼情報交換(ワールドカフェ)



【研修1】▼情報交換(ワールドカフェ)



【研修1】▼情報交換(ワールドカフェ)



【研修1】▼情報交換(ワールドカフェ)



【研修2】▼講義
長崎県諫早市こどもの城館長 池田 尚 氏



【研修2】▼講義
長崎県諫早市こどもの城館長 池田 尚 氏



【研修2】▼講義
長崎県諫早市こどもの城館長 池田 尚 氏



【研修2】▼講義
長崎県諫早市こどもの城館長 池田 尚 氏



＜参加者感想＞

- こどもの気持ちになり安心・安全の場を作りたい。
- ワールドカフェは初めてだったが、楽しく情報交換できた。困りや安心・安全について聞くことができた。
- 得られた情報からネットワークが広がった。
- 自分の活動をふりかえるきっかけになった。
- 皆さんの困りを聞いてよかった。
- 子どもたちへの声かけの仕方を学んだ。
- 諫早市こどもの城を見学したい。
- 講義がわかりやすくとてもよかった。
- 「おかえりの歌」をみんなで歌い、感動的な講義だった。